

2020年度 第1回ユリイカ on-line セミナー

(with Corona の)新しい日常・学び

禅の日常性

— 「役に立つ」と「迷惑をかける」のころ —

講師：大熊玄氏

(立教大学 21世紀社会デザイン研究科 准教授)

<講師紹介>

1972年生まれ。金沢大学大学院 博士後期課程 満期退学。インド Pune 大学大学院 国費留学。金沢大学 非常勤講師、石川県西田哲学館 学芸課長(専門員)を経て、2015年より同館副館長、立教大学 21世紀社会デザイン研究科・文学部 准教授。専門は、哲学、宗教学、東洋思想。社会人との哲学対話を通して、哲学の社会実装に取り組んでいる。著書『鈴木大拙の言葉』『はじめての大拙』『善とは何か』等。編著書『西田幾多郎の世界』。



<講師のコメント>

昨年の立教セカンドステージ大学で「日本思想を名著でたどる」という講義をしたご縁で、このユリイカセミナーにてお話をさせていただくことになりました。

今回のテーマは、私が昨年に『はじめての大拙』という本を出したこともあり、近現代の日本を代表する仏教哲学者・思想家の鈴木大拙(1870-1966)の「禅 ZEN」について、身近なトピックから入門的なお話ができればと思っています。具体的には、このコロナ禍の状況で現れてきた「日常」について、禅の立場ではどう捉えるのか。そして、そこから、現代の私たちの中にある「生産性」や「役に立つ」あるいは「迷惑をかけたくない」という心情の危うさについてお話しできればと思います。

- ・ 開催日時：2020年9月8日(火) 15:00-16:30
- ・ 開催方法：オンライン講義(Zoom)
- ・ 申込方法・参加料：このチラシが添付されているメールでご確認下さい。
- ・ Zoomの事前体験会：8月24日(月)15:00～

☆Zoom 操作初めての方、ちょっと自信のない方、セミナー前に Zoom の練習をしてみましよう。事前体験会の申し込みは、8/20 まで上記の伝助で受け付けています。

「ユリイカの会」メールアドレス：eureka.rssc@gmail.com

※ユリイカの会は哲学・思想、芸術・芸能、社会事象等を学ぶ RSSC 卒業生の自主サークルです
代表：7期生 石倉 アドバイザー：高橋輝暁先生